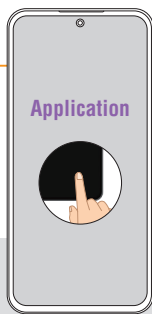


アプリを利用する

アプリを起動するには、ホーム画面、または「アプリ一覧」画面のアイコンをタップします。ここでは、アプリの終了方法や切り替え方法もあわせて覚えてみましょう。



1 アプリを起動する

- ホーム画面の「アプリ一覧」ボタン（「アプリ一覧」アイコン）をタップします。



- 「アプリ一覧」画面が表示されるので、画面を上下にスワイプし、任意のアプリを探してタップします。ここでは、「電話」をタップします。



- 「電話」アプリが起動します。アプリの起動中に「アプリ一覧」ボタンをタップすると、1つ前の画面（ここでは「アプリ一覧」画面）に戻ります。



MEMO アプリの起動方法

本体にインストールされているアプリは、ホーム画面や「アプリ一覧」画面に表示されます。アプリを起動するときは、ホーム画面のアプリのショートカットや「アプリ一覧」画面のアプリアイコンをタップします。

アプリを切り替える

- アプリの起動中やホーム画面で「アプリ一覧」ボタン（「履歴」ボタン）をタップします。



- 最近使用したアプリ（履歴）が一覧表示されるので、利用したいアプリを、左右にフリックして表示し、タップします。



- タップしたアプリに切り替わります。

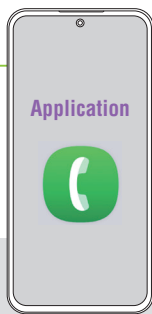


MEMO アプリの終了

手順②の画面で、終了したいアプリを上方向にフリックすると、アプリが終了します。また、下部の「全て閉じる」をタップすると、起動中のアプリがすべて終了します。なお、アプリを終了しなくても、メモリや電池が不足することはないので、基本的にアプリを手動で終了する必要はありません。

伝言メモを利用する

A36では、電話に回答できないときに、本体に発信者からのメッセージを記録する伝言メモ機能があります。ドコモが提供する留守番電話サービスとの違いも確認しましょう。

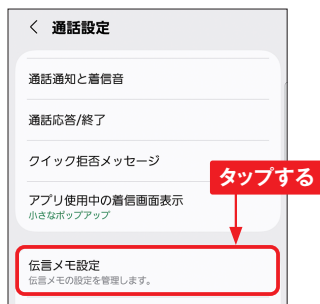


伝言メモを設定する

- ホーム画面で [設定] をタップし、右上の [設定] をタップして、 [設定] をタップします。



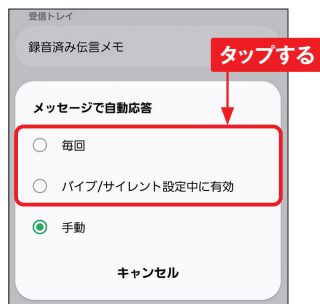
- [伝言メモ設定] をタップします。



- [メッセージで自動応答] （初期状態は「手動」で伝言メモはオフ）をタップします。



- 伝言メモを設定するには、 [毎回] または [バイブ／サイレント設定中に有効] をタップします。



伝言メモを確認する

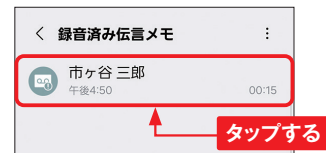
- 不在着信があると、ステータスバーに通知アイコンが表示されるので、ステータスバーの左側を下方向にスワイプします。



- 通知パネルが表示されます。伝言メモがあると、「新しい録音メッセージ」と通知に表示されるので、タップして詳細を表示し、聞きたい伝言をタップします。



- 再生していないメッセージには [再生] が表示されます。再生したいメッセージをタップします。



- メッセージが再生されます。再生が終了したら [X] をタップします。メッセージを削除するときは、手順③の画面で削除したいメッセージをロングタッチし、 [削除] をタップします。



MEMO 伝言メモと留守番電話サービス

伝言メモは料金がかかりませんが、電波の届かない場所では利用できません。ドコモでは、電波が届かない場所でも留守番電話が使える「留守番電話サービス」（有料）を提供しています。電波が届く場所では伝言メモ、届かない場合には留守番電話を利用したい場合は、伝言メモの応答時間（P.44手順③の「応答メッセージを再生するまでの時間」で設定）を、留守番電話の応答時間より短くします。

複数のWebページを同時に開く

「Chrome」アプリでは、複数のWebページをタブを切り替えて同時に開くことができます。複数のページを交互に参照したいときや、常に表示しておきたいページがあるときに利用すると便利です。



Webページを新しいタブで開く

- 「URL入力欄」を表示して、⋮をタップします。



- 「新しいタブ」をタップします。



- 新しいタブが表示されます。



MEMO シークレットタブ

手順②の画面で「新しいシークレットタブ」をタップすると、シークレットタブが表示されます。シークレットタブで閲覧したWebページは、閲覧履歴に表示されません。



複数のタブを切り替える

- 複数のタブを開いた状態でタブ切り替えアイコンをタップします。



- 現在開いているタブの一覧が表示されるので、表示したいタブをタップします。



- 表示するタブが切り替わります。



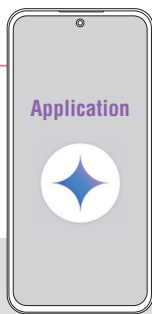
MEMO タブを閉じるには

不要なタブを閉じたいときは、手順②の画面で、右上の✕をタップします。なお、最後に残ったタブを閉じると、「Chrome」アプリが終了します。



AIアシスタント 「Gemini」を利用する

A36では、GoogleのAIサービス「Gemini」を利用できます。電源キーを長押しするだけで起動でき、文字や音声、画像などを対話形式で処理してくれます。



Geminiを利用する

- ① 電源キーを長押しします。



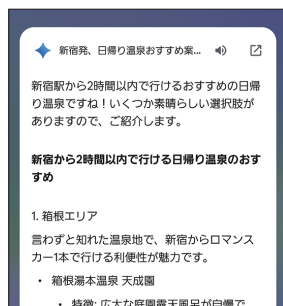
- ② 画面下にGeminiの入力欄が出現します。



- ③ 入力欄をタップして質問を入力し、➤をタップします。🗣️をタップすると、音声入力ができます。



- ④ Geminiからの返信が表示されます。さらに対話を続けることもできます。



Webページの内容を要約してもらう

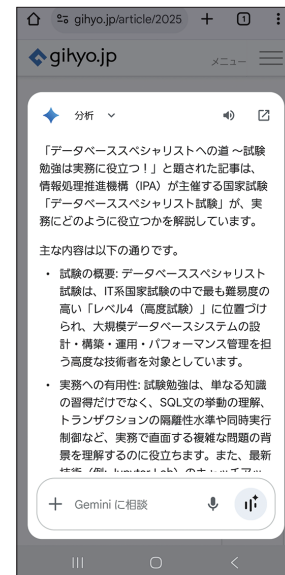
- ① ChromeでWebページを開いた状態で、電源キーを長押しします。[画面について質問する]をタップします。



- ② 「内容を要約して」と入力して、➤をタップします。



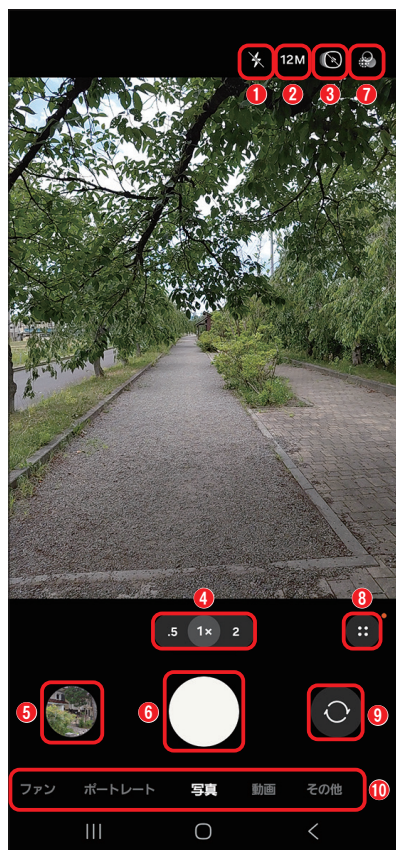
- ③ 内容の要約が作成されます。



MEMO Geminiの その他の機能

手順①の画面で+をタップすると、写真やファイルを使って質問ができます。また、[Liveと画面を共有]をタップすると、画面を共有してGeminiとリアルタイムで音声会話ができます。また、Geminiアプリでは、対話しながら文章などをブラッシュアップできるCanvasや画像生成機能も利用できます。

6 撮影画面の見かた



※写真撮影時初期状態

1	フラッシュ設定	6	シャッターボタン
2	解像度	7	フィルター
3	モーションフォト	8	クイックコントロール
4	カメラズーム	9	フロントカメラ／リアカメラの切り替え
5	サムネイル	10	カメラモードの切り替え

6 リアカメラを切り替えて撮影する

1 カメラを起動すると、標準では「1x」の広角カメラが選択されています。[2] をタップします。



2 2倍の望遠カメラに切り替わります。最大10倍までズームが可能です。



3 画面をピンチすると、拡大／縮小します。倍率の数字をタップして、ズームの度合いを変更することもできます。

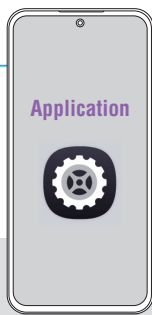


MEMO ズームとカメラの切り替えについて

A36では、リアカメラのカメラは0.5、1、2倍を選択することができます。画面をピンチしてズームをすることで、倍率アイコンをタップしなくても、これらのカメラを自動的に切り替えてくれます。画面で表示されているアイコンでは、カメラが対応する以外の倍率も選択することができますが、その場合は、対応する倍率のカメラの中央部分を切り出して拡大するデジタル処理をしています。

アプリを分割画面やポップアップで表示する

1画面に2つのアプリを分割表示したり、アプリ上に他のアプリをポップアップ表示したりすることができます。一部アプリはこの機能に対応していませんが、設定で可能になる場合があります。



分割画面を表示する

① いずれかの画面で、履歴ボタンをタップします。



② 履歴一覧が表示されるので、分割画面の上部に表示したいアプリのアイコン部分をタップします。



③ [分割画面表示で起動] をタップします。



④ 次に、「分割画面アプリを選択」欄で分割画面の下部に表示したいアプリをタップします。



⑤ 上下に選択したアプリが表示されます。各表示範囲をタップすると、そのアプリを操作できます。■をドラッグします。



⑥ 表示範囲が変わりました。下部のアプリをタップして、< を何度かタップします。



⑦ 下部のアプリが終了します。



対応していないアプリで利用する

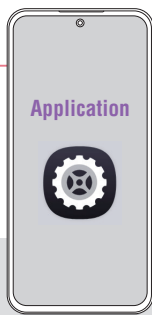
一部アプリは、分割画面やポップアップ表示 (P.151 参照) に対応していませんが、「設定」アプリを起動し、「便利な機能」→「ラボ」の順にタップして、「全てのアプリでマルチウィンドウ」を有効にすると、ほとんどのアプリで利用できるようになります。ただし、画面表示が最適化されないため、使いづらい場合があります。

全てのアプリでマルチウィンドウ
ポップアップ表示や分割画面で起動すること、マルチウィンドウに合わせて設計されていないアプリを含む全てのアプリに許可します。

ダークモードアプリ

ナビゲーションバーをカスタマイズする

ナビゲーションバーは、ボタンの配置やバーの形状を変更することができます。使いやすいように、変更してみましょう。



ナビゲーションバーを変更する

- 1 「設定」アプリを起動し、[ディスプレイ] → [ナビゲーションバー] の順にタップします。



- 2 [他のオプション] をタップします。



- 3 「ボタンの順序」でボタンの配置を逆にすることができます。

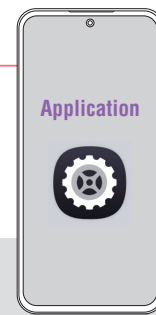


MEMO スワイプジェスチャー

手順②で選択できる「スワイプジェスチャー」は、Android 10以降で標準となったナビゲーションバー形状です。ボタンをタップする代わりに、上方向にスワイプで「アプリ一覧」画面や履歴の表示、左右方向のスワイプでアプリの切り替えができます。

文字を見やすくする

A36は、「設定」アプリで文字のサイズなどを変更して、見やすくできます。Chromeで表示したWebページや「電話」アプリの履歴など、他のアプリでも文字サイズが変更されます。

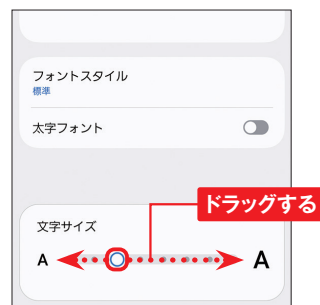


文字サイズを変更する

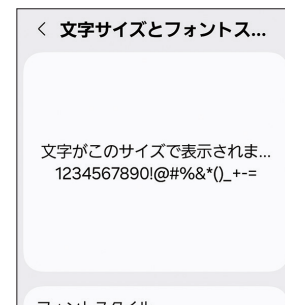
- 1 「設定」アプリを起動し、[ディスプレイ] → [文字サイズとフォントスタイル] の順にタップします。



- 2 [文字サイズ] で、○を左右にドラッグして、文字の大きさを変えます。



- 3 プレビューで大きさを確認することができます。



- 4 [太字フォント] をタップすると、文字を太字にすることができます。

